NOMA
NIPPON OMNI-MANAGEMENT ASSOCIATION

東京開催

関係部門へ
ご回覧ください

激動を勝ち抜く、実践的『広報力』を身に付ける

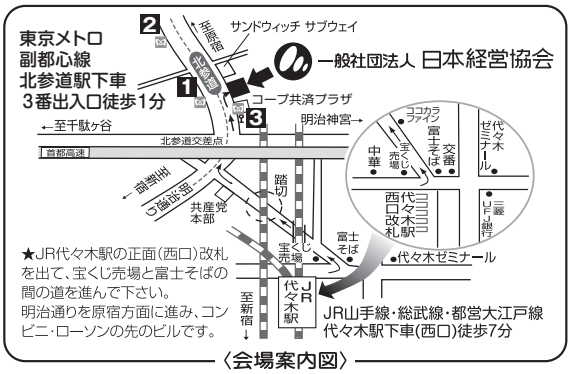
『広報担当者のための企業広報実務コース』

日　時　2020年９月16日㈬　10：00～17：00（6H）

会　場　東京・代々木・本会内セミナー室（右図参照）
東京都渋谷区千駄ヶ谷3−11−8　ＴＥＬ(03)3403−1972(直)

講　師　山見インテグレーター㈱　代表取締役
広報ＰＲ・危機対応コンサルタント
「山見塾」塾長・九州大学特別講師
山見　博康氏

対　象　広報・ＰＲ・総務・危機管理部門・
広告マーケティングのスタッフ、担当者
●山見　博康氏著『すぐ！よく！わかる絵解き広報』（同友館）を教材として使用いたします。



〈会場案内図〉

主催　一般社団法人 日本経営協会

開催にあたって

突然の“新型コロナウイルス”感染拡大に端を発した情報パンデミック!! 各企業ともその対応に追われ、テレワーク、ソーシャルディスタンスといった働き方改革にも対応している、、、今こそ企業のあり方とそれをいかに社内外に発信していくか？を荷う広報部門の役割はますます重要になっています。

そこで、これからの広報はマスメディアを中心にネットメディアをいかに融合させるかかの広報戦略がより一層求められます。

企業の社会的責任や説明責任、また経営の透明性が広く求められるなか、自社の経営姿勢やニュースを適切にアナウンスする能力を一層強化し、他社に勝らなければなりません。

本セミナーでは、広報担当者が抱きがちな「５つの誤解」を紐解きながら、平素のニュースネタの収集、記者付き合い、ニュースリリース・Ｑ＆Ａの作り方などの基本業務から、時代に対応したネット広報、事故・不祥事などの危機対応までの成功ポイントを、最新情報を織り交ぜ、随所に演習やロールプレイを交えながら実践的かつ明快にご指導いたします。豊富な図解入り独自テキストにより広報の全体を理論と実践両面から１日で学び、直ちに行動開始できる内容となっております。更に身近なテーマでの「ショートスピーチ」の実践演習により広報に必要なコメント力向上を促進します。現下の新型コロナウイルス禍に適切に冷静に対応するあなたに期待しています。

参加料［テキスト・資料代含む］	参　加　料	消　費　税	合　　計
日本経営協会会員（1名）	31,000円	3,100円	34,100円
一　　般　（1名）	37,000円	3,700円	40,700円

■早割・複割について【最大4,400円（税込）割引】

・早割（早期申込割引）お申込みされた講座のうち、開催日がお申込み日より２ヵ月以上先の講座について参加料を１講座１名あたり2,200円（税込）割引させていただきます。
・複割（複数申込割引）複数名のお申込みで、参加料を１名あたり2,200円（税込）割引いたします。（ただし、同時にお申込みの場合に限ります）

■申込・支払方法

参加申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送又はＦＡＸにてお申込みください。追って、振込口座名を記載した請求書と参加券をご派遣責任者（連絡担当者）までお送りします。不着の場合は必ず電話にて確認ください。参加料のお振込みは原則として請求書に記載されましたお支払期限までにお願いします。

●振り込み手数料は貴社（団体）にてご負担ください。また、領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。
●万一ご都合が悪くなった場合は代理の方がご出席ください。
●教材は原則として当日会場にてお渡しします。
●参加者が少数の場合、天災の場合などにおいては中止・延期させて頂く場合があります。すでにお振込の場合は、全額返金させていただきます。
●録音録画、撮影等は原則として出来ません。ご了承ください（特記の場合を除く）。

■キャンセルについて

開催日の３営業日前からは30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までに連絡が無く欠席の場合は、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

■会員入会手続きについて

入会の詳細および特典については、ホームページの「会員検索／ご入会のご案内」をご参照ください。

■WEBお申込みの流れ

1 一般社団法人日本経営協会 ホームページ　http://www.noma.or.jp
2 「セミナー／講座」を選択
3 「セミナーを探す」よりカテゴリーを選択
4 ご希望セミナーを検索。ご希望のセミナー名をクリック。
5 ご希望セミナー詳細の最後の「WEB申込」からお申込み
6 お申込みをいただきますと、確認メールが届きます。

お申込み・お問合せ先
一般社団法人 日本経営協会
企画研修グループ　●担当：池田
〒151−0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷3−11−8
TEL(03)3403−1972(直)　FAX(03)3403−8417
E-mail:tms@noma.or.jp　URL http://www.noma.or.jp

キ ― リ ― ト ― リ ― セ ― ン

一般社団法人　日本経営協会　企画研修グループ 宛
ＦＡＸ(03)3403−8417

年　月　日

事務局使用欄	No.	

参加申込書　**広報担当者のための企業広報実務コース**　15691　2020.9/16 10：00開講 NOMA

企業(団体)名	フリガナ	TEL		□会　員　□一　般（該当にレ印をつけて下さい）	
所　在　地	〒	FAX		業　種	
				従業員数	名

参加者氏名	所属・役職	早・複割	メールアドレス
フリガナ		早・複	e-mail：
フリガナ		早・複	e-mail：
フリガナ		早・複	e-mail：

請求書・参加券送付先	フリガナ	所属・役職		メールアドレス	e-mail：

参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。
①参加券や請求書の発送などの事務処理　②セミナー・イベントなど本会セミナー(事業)のご案内　※なお、②がご不要の場合は□にチェックしてください。―□不要
※今後eメールによるご案内も予定しています。ご希望の方は、ご記入ください。

～激動を勝ち抜く、実践的『広報力』を身に付ける～

『広報担当者のための企業広報実務コース』

プログラム内容

はじめに

情報パンデミックへの対応

1．そもそも広報とは何か
―お客様の視点から本質を理解する

＜広報担当の５つの誤解とは＞

(1)人はなぜ化粧し、身だしなみを整えるのか？

(2)人は小さい時から自分広報の達人

(3)自分が最も良く知る「商品」 自己紹介実践演習

(4)広報の本質とは？ 自分と会社を一致させよ

(5)記事と広告は次元が異なる

2．企業とメディアの関係を理解し、全方位広報を考えよう

(1)メディアもメーカー。広報は戦いだ

(2)企業とメディアは“協力”も“対立”もする

(3)メディアは企業の代理店。報せる武器

(4)広報は全方位で考えよう。全てがメディア

3．ニュースがなくては話にならない
―何がニュースなのか、どう集めるか

(1)ニュース素材32のキーワード

(2)いかにニュースネタにするか？社内のネタ元は？

(3)それからやるべきこと―探したら三つに分けよ

(4)ＵＳＰ（特長）・UDP（差異別点）とは何か

(5)自社（商品）のUSP・UDPを探せ 実践演習

4．記事の出し方を理解しないと戦略広報はできない

(1)記事の出し方は三つプラスα

(2)一斉発表の方法。なぜ発表するのか？

(3)記者クラブの役割とその利用法を理解しよう

(4)取材要請の方法と取材申込みの受け方

(5)〆切時間と記者の動向。夜討ち朝駆けとは？

5．ニュースリリースとＱ＆Ａ

(1)ニュースリリースの本質と作成のコツ

(2)ニュースリリースサンプルから改善点を学ぶ

(3)Ｑ＆Ａの本質と作成のコツ Ｑの出し方実践演習

(4)「質問予測力」を高めコメント力を磨け

6．日々の基本業務の積み重ねが大切

(1)広報担当の日々の業務とは？

(2)記者はどんな人か…判って付き合おう

(3)個別面談を増やせ 役者より演出家になれ

(4)新聞記事のプロの読み方実践指南 疑って読め

7．事故・不祥事！
―社運を左右する広報の危機管理

(1)危機は管理できない ― その事前対応とは

(2)危機が起きたら「七つの直」がキーワード

(3)最近の不祥事に学ぶマスコミ対応の心得

(4)いつ発すべきか？ その判断を問う

グループ討議 ショートスピーチ演習

(5)情報漏洩とネット炎上に備えよ

8．自社をいかにブランド化するか

(1)ブランドとは何か グループ討議

(2)ブランド化するには その秘訣

(3)自社（商品）ブランド向上に何をすべきか？

グループ討議

9．日々研鑽して広報卓越者を目指せ

(1)広報は経営だ。情報を司り、真人間を目指せ

(2)なぜ有名になりイメージをあげる必要があるのか？ 広報の本質は喜びと誇りを与える事

(3)クレームを喜べ、ぼやきを感じよ

(4)広報効果測定（見えない効果を大切に）

(5)優れた広報担当者の心掛け６ヶ条

(6)広報担当者が学べる10か条

ショートスピーチ演習

左記プログラムは都合により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

講師プロフィール

山見インテグレーター㈱ 代表取締役／広報・危機対応コンサルタント／「山見塾」塾長・九州大学特別講師

山見 博康（やまみ ひろやす）氏

1968年九州大学経済学部卒業。神戸製鋼所入社、秘書室広報担当係長・課長・次長、広報部長、ベンチャー企業及びコンサルティング会社出向等を経て2002年に独立、現在に至る。自らの大小企業における豊かな体験と有力企業の広報担当者、有力メディア企業幹部との広範なネットワークを活かし常に先端情報を交えた実践的で明快な指導には定評がある。福岡県出身。

<主著>「すぐ！よく！分かる絵解き広報」（同友館）「新版 広報・ＰＲの基本」「ニュースリリース大全集」「企業不祥事・危機対応広報完全マニュアル」「小さな会社の広報の仕事ができる本」「新聞・テレビ・雑誌・ウェブに取り上げられるＰＲネタの作り方」「広報ＰＲ・実務ハンドブック」「会社をマスコミに売り込む法」「広報の達人になる法」「山見式ＰＲ法」「勝ち組企業の広報・PR戦略」 他多数

※出張研修も承っております。表面のお申込先までお問い合わせ下さい。

FAX (03)3403-8417